

みどり園 職員紹介



▲園長・総務・医務



▲給食



▲地域生活支援課



▲北棟



▲西棟



▲東棟



▲南棟

ボランティア状況

今年は新型コロナウイルスによる自粛が緩和されたということで、ボランティアの皆様と利用者の方がお会いできる機会を少しずつ増やしていきたいと思っています。みどり園ではボランティアを常時募集しています。興味のある方、ご連絡お待ちしております。

苦情解決処理状況

(令和5年3月1日～令和5年6月30日)

苦情受付件数 0件

みどり園まつりについて

令和5年10月21日(土)、リニューアルした『第13回川部みどり園まつり』を開催します。4年ぶりに皆様にお会いできること楽しみにしております。詳細は改めてご案内いたします。

研修案内

- 令和5年度の相談支援従事者研修、サービス管理責任者等更新研修・基礎研修は受付を終了しました。
- サービス管理責任者等実践研修は12月、強度行動障害支援者養成研修は1月から、どちらも対面形式で小規模分散開催を予定しております。
- 申請につきましては、各研修日の約2か月前からホームページに掲載しますので、受講希望の方はお忘れのないよう申請ください。

編集後記

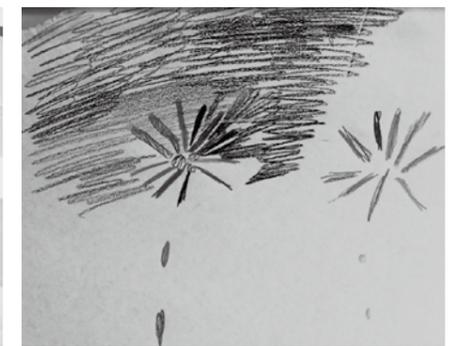
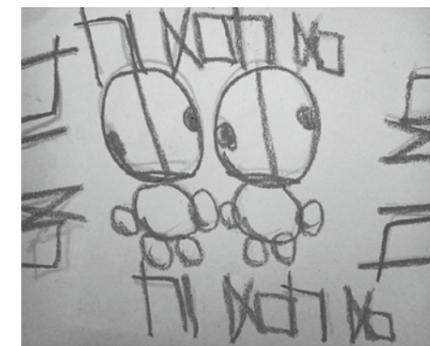
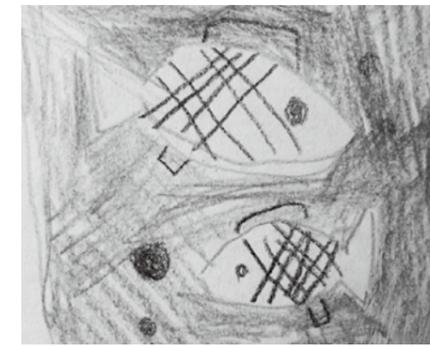
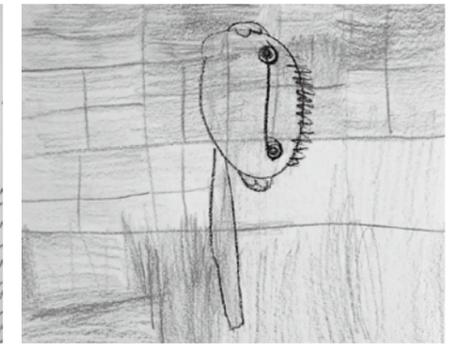
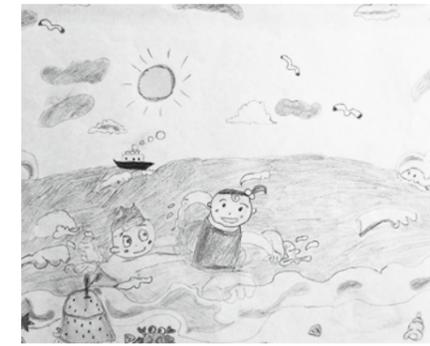
新型コロナウイルスによる自粛が緩和され、行事が続々と復活することとなりました。久しぶりの外出や行事で少し戸惑うこともありますが、皆さん笑顔が溢れ、楽しそうな様子でした。これからも利用者さんの元気で明るい姿を発信できればと思います。

<編集・発行>
 香川県立川部みどり園
 〒761-8046 高松市川部町 418
 TEL (代) 087-885-8600
 E-mail: midorien@pref.kagawa.lg.jp
<https://www.pref.kagawa.lg.jp/midorien/index.html>



みどり

第67号



元に戻ることの難しさ

3年もの間続いてきた「コロナ禍」はいつ終わったのか(終わっていないのか)定かではありませんが、少なくとも終わりには近づいてきたようです。

このコロナ禍においては、当園も、コロナの状況を憂慮しながらひたすらじっと耐える時間を過ごしてきました。多分に漏れず、利用者様・職員共に多くの感染者が発生しましたが、幸い重症になる方はいらっしゃらず、何とかやり過ごせたものと思います。この間、様々な形でご支援いただきました医療機関など関係者の皆様に厚く感謝申し上げます。

現在、利用者様の外出などは、以前とほぼ同様に実施しておりますが、大きな行事となると、経験者がいない中で企画・運営しなければならず、3年間の空白がいかにか大きいものか、今になって痛感しているところです。

これからは、この3年間「やりたかったのにできなかったこと」が何かをあらためて振り返り、空白を一つ一つ埋めていながら、徐々に元の姿を取り戻してまいりたいと考えております。

新型コロナウイルスによる自粛が緩和されたみどり園での変化

北棟



写真は、振替休日の一コマです。新型コロナウイルスによる自粛が緩和され、学校行事も以前のような賑わいが戻りつつあります。5月は運動会がありました。みんなが日頃の練習の成果を発揮！練習や本番を頑張った分、振替休日は外出を楽しみます。お出かけをして、のびのび過ごすことができました。夏休みにも思い出が作れる行事をたくさん計画したいです。

東棟



おいしいおもいを食べてきた

5月19日牟礼にある「おもいファクトリー」というお店でやきいもメニューを食べてきました。フライドポテトにできたてあげパン、大好きなコーヒーに冷たいコーラ。ひさびさの外食にみんな大満足でした。

西棟



西棟では、マスクは自己判断となりました。とはいえ数年来の習慣を変えるのは難しいもの。現在は約3割の児童がマスクを外して生活しています。他には、おやつを皆で食べられるようになった（それまでは各自の部屋で食べていました）、並んでハミガキができるようになった、などの変化があります。変える/変えないを児童会で話し合い、自分たちで決めてもらっています。

南棟



新型コロナウイルスによる自粛が緩和されたことから、利用者との外出の機会を増やすことができるようになりました。先月は、南棟職員2名に加えて、地域課職員1名と連携して女性利用者4名とのイオン外出が実現しました。フードコートでの食事がメインではありましたが、職員が分かれることで利用者の希望に柔軟に対応ができ、限られた時間の中で最大限に外出を楽しむことができました。

自粛緩和の変化を直接インタビュー

西棟



【児童の声】おやつを皆で食べられるようになってうれしい。余暇時間が増えたからうれしい。（特に女子児童）マスクを外すのは恥ずかしい。顔が小さく見えるから、大きいマスクの方がいい。

学校でもプール授業や宿泊学習が再開されるなど、色々な変化があるようです。総じて活動が増え、児童は喜んでいきます。

南棟



外出が増えて楽しい？嬉しい？悲しい？かを3人の方にインタビューしました！

Kさんは「楽しい。コーラやあめ、お菓子が買いたい。」

Oさんは「楽しい。嬉しい。もっと行きたい。」
Nさんは「みんなで行くのが嬉しい。クッキーやコーラを買いたい。」

と、皆さん外出が増えて嬉しいようでしたこと等もたくさん話をしてくれました。

色々な楽しい経験がこれからもできればいいなと思います♪

生活介護班の新しい体制

生活介護班では、高齢化による身体機能の低下などにより、配慮が必要な利用者様の増加等が課題となっていました。全ての利用者様に、安心安全な活動の場を提供するため、班編成の見直しを行い、7月から新たな班体制でスタートすることとなりました。

新A班は、これまで通り東棟での日中活動を軸に、作業については生活介護棟で行います。新B班は、活動場所が南棟の娯楽室に変更。南棟・東棟の利用者様に、一人ひとりのペースに合わせた、ゆったりとしたプログラムを準備しています。新C班は、生活介護棟で活動します。障害の特性に応じ、スケジュール表等、視覚的支援を取り入れたり、刺激を少なくする構造を用いるなどの工夫をしています。

環境の変化に伴い、利用者の皆さま、ご家族の皆さまには色々ご心配やご迷惑をお掛けすることがあるかもしれませんが、ご理解、ご協力よろしくお願い致します。



▲新メンバー対面式の様子